

大飯発電所3号機の原子炉起動と調整運転開始について
(第8回定期検査)

このことについて、関西電力株式会社から下記のとおり連絡を受けた。

記

大飯発電所3号機(加圧水型軽水炉; 定格出力118万kW)は、平成13年9月16日から第8回定期検査を実施していたが11月5日に原子炉を起動し、翌11月6日に臨界となる予定である。

その後は諸試験を実施し、11月上旬(11月7日頃)に定期検査の最終段階である調整運転を開始し、12月上旬には経済産業省の最終検査を受けて営業運転を再開する予定である。

1. 主要工事等

- (1) 1次冷却材ポンプ供用期間中検査 (図-1参照)
1次冷却材ポンプの供用期間中検査として、4台あるポンプのうち、Bポンプについて、主フランジボルト、締め付け部等耐圧部の健全性を確認するとともに、分解検査としてインペラ等の内部部品について点検した。
- (2) 原子炉容器供用期間中検査
原子炉容器の供用期間中検査として、原子炉容器の溶接部等について、超音波による探傷検査を行い、健全性を確認した。
- (3) 原子炉容器照射試験片取出工事
中性子照射による原子炉容器の材料特性変化を定期的に把握するため、原子炉容器内部に設置している照射試験片を計画的に取り出した。

2. 燃料集合体の取替え

燃料集合体全数193体のうち、81体(うち72体は新燃料集合体で新燃料は全て高燃焼度燃料)を取り替えた。

3. 蒸気発生器伝熱管の渦流探傷検査結果

蒸気発生器4台のうち、AおよびC－蒸気発生器伝熱管全数（計6,764本：3,382本×2基）について、渦流探傷検査を実施した結果、異常は認められなかった。

4. 次回の定期検査の予定

平成15年冬頃

問い合わせ先
内線 2353
担当 河寄

図-1 1次冷却材ポンプ構造図

